

# 会 議 録

平成25年9月10日調製

審議会等名	平成25年度 第1回 生涯学習推進会議		
公開の別	全部公開		
開催日時	平成25年8月6日(火) 午後1時50分～3時20分		
開催場所	三条市中央公民館 大集会室	傍聴者	なし
		報道機関	三條新聞
出席者氏名	生涯学習推進会議委員 丸山正夫委員 小林斉子委員		
	佐藤真教委員 山川啓子委員		
	高橋美智子委員 佐々木昭雄委員		
	金井康子委員 皆川孝夫委員		
	野崎輝子委員		
	三条市	金子生涯学習課長	野村生涯学習課長補佐
	小林生涯学習推進係長 坂内副参事		
	伊藤主事		
議 題	<p>(1)会長・副会長の選出について</p> <p>(2)三条市生涯学習推進計画について</p> <p>(3)平成24年度三条市生涯学習推進計画 実施状況について</p> <p>(4)平成25年度三条市生涯学習推進計画 実施計画について</p> <p>(5)三条市生涯学習市民意識調査「生涯学習に関するアンケート」について</p> <p>(6)その他</p>		
発言内容等			
坂内副参事	<p>定刻前ですが、これから平成25年度第1回生涯学習推進会議を開催させていただきます。</p> <p>&lt;資料の確認&gt;</p> <p>金子生涯学習課長から、ご挨拶を申し上げます。</p>		
金子課長	<p>&lt;生涯学習課長挨拶&gt;</p> <p>第1回目の生涯学習推進会議でございますので、会長・副会長が決まっております。会長・副会長が決まるまで、私の方で議事の進行をさせていただきたいと思っております。</p>		

金子課長	<p>それでは、出席者の自己紹介ということで名簿順にお願い申し上げたいと思います。</p> <p>&lt;各委員の自己紹介&gt; &lt;事務局の自己紹介&gt;</p> <p>議題に入らせていただきまして、会長・副会長の選出でございますが、皆様の中から1名ずつ会長、副会長の推薦をお願い申し上げたいと思いますが、いかがでございましょうか。</p>
野崎委員	<p>一般公募の私が申し上げてすみませんが、事務局に一任されてはいかがででしょうか。</p>
金子課長	<p>今、事務局一任という意見が出ましたが、よろしゅうございますか。</p> <p>&lt;一同、異議なし&gt;</p> <p>それでは、事務局の方でご推薦をしていきたいと思いますが、会長につきましては、昨年度まで会長をしていただきました、三条市文化団体協会からお出でいただいております、丸山正夫さんをお願いしたいと思います。それから、副会長の方でございますが、三条市スポーツ推進委員協議会の方から推薦を得て来ていただいております、小林斉子さんをお願いしたいと思います。いかがでございましょうか。</p>
小林委員	<p>すみません。私以外に、この会議で2回目の委員をなさっている方はいらっしゃいますか。</p>
金子課長	<p>2回目は山川委員さん、高橋委員さん、それから野崎委員さんです。</p> <p>野崎委員さんは公募ですので、お二人のどなたかにやっていただけませんかでしょうか。私は初めてでございますので、役を担えるとは思えません。ご経験なさっている方をお願いしていただけませんかでしょうか。</p> <p>それではまず、会長さんから先に決めさせていただいてもよろしいですか。私どもの丸山会長さんの推薦でいかがでございますか。</p> <p>&lt;一同、異議なし&gt;</p> <p>&lt;丸山委員、会長席に移動&gt;</p> <p>会長さんから、副会長の人選についておはかりいただくとありがたいのでございますが。</p>

丸山会長	<p>&lt;会長就任の挨拶&gt;</p> <p>ただいまの小林委員さんのご意見をもとに、副会長についてはこの中で互選ということでございますので、みなさんご意見ありましたらお願いしたいのですが、いかがでしょうか。経験者のお二方、いかがでしょうか。</p>
高橋委員	私は、正直申しましてスケジュールが目一杯です。申し訳ございません。
丸山委員	ぜひ生涯学習推進会議だけは出ていただきたいのですけれども。
高橋委員	はい、それはもちろんです。
丸山委員	それでは、山川啓子様をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。
山川委員	この会議に出るだけで、副会長の役が全うできるのであればお引き受けできますが。
丸山委員	そうですね。この会議だけで終わります。
山川委員	<p>分かりました。では、会長さんのそばにいて、記録等とることがあるようであれば、その仕事をいたします。皆さんが私でよければ、よろしくお願いします。</p> <p>&lt;一同拍手で了承&gt;</p> <p>&lt;山川委員、副会長席に移動&gt;</p>
山川副会長	<副会長就任の挨拶>
丸山会長	<p>それでは、平成25年度第1回生涯学習推進会議ということで、新しいメンバーの方も入れて、これから始めさせていただきたいと思います。</p> <p>それでは、次第に沿って議題を進めさせていただきたいと思います。まず、(2)三条市生涯学習推進計画について、事務局から説明をお願いしたいと思います。</p>
金子課長	<生涯学習推進計画 概要版に沿って説明>
丸山会長	<p>ただいま説明がありましたように、幅広い生涯学習でございますけれども、このパンフレットにまとめた通りでございます。「生涯学習推進計画」が基になっておりますので、詳しくはそちらをご確認いただければと思います。ただいまのところで、何かご質問がありましたらお願いいたします。</p> <p>&lt;質問なし&gt;</p> <p>それでは、次に(3)平成24年度三条市生涯学習推進計画実施状況について、資料No.1、2、3ということで説明させていただきたいと思います。事務局からお願いします。</p>
金子課長	<資料No.1、2、3に基づいて「平成24年度三条市生涯学習推進計画 実施状況」について説明>

丸山会長	<p>ありがとうございました。ただいま、平成24年度の実績について説明がございました。資料No.3の冊子が非常に厚いため、皆さん目を通されたかどうか分かりませんが、それをまとめたのが資料No.1でございます。事業体系数ということで、推進計画の各柱に対してどのような事業件数で、実施状況がどうであったか等、体系的に見るには見やすいかと思えます。</p> <p>ご意見をいただきたいのですが、私の方から1つだけ質問させていただいて、皆さんから引き続き意見を出していただきたいと思えます。</p> <p>資料No.1の事業体系数について、平成23年度が298事業、24年度の計画が292事業、24年度の実績が284事業ということで、これを見ると23年度の実績と24年度計画の比較でマイナス6事業ということですし、24年度の計画数に対して24年度の実績がマイナス8事業ということで、減少しているわけでございます。個々に見ていきますと、計画に対して実施が出来なかったという事業について目立つのが、「多様な学習活動の充実」の中の「スポーツ活動・健康づくり学習の充実」の「①生涯スポーツの推進」がマイナス4事業ということで、中でも大きいです。もう一つが「生涯学習支援体制の整備」の中の「生涯学習指導者の育成」の「スポーツ指導者の育成」というところでございます。これはマイナス1事業でございますけれども、資料No.3の103ページにある詳しい説明を見ますと、平成23年度終了時の課題ということで、「参加者の増加を図るために会場・実施時期等の、講座全体の構成要素について検討」となっております。それを踏まえて24年度に実施があったかどうかを見ると、「参加申込が無かったため中止」となっておりまして、どうもスポーツ関係の事業が減少しているような気がいたします。この指導者育成については、25年度の計画もあると思うのですが、ここでも同じように取り上げられております。23年度からずっと同じ課題できているのではないかと思います。この指導者育成の面については、健康づくり課の事業でございますけれども、もし何かコメントがありましたら事務局からお願いしたいと思えます。</p>
金子課長	<p>これについては、また25年度で計画されておりますので、その推移を見たいと思えますのでよろしく申し上げます。</p>
小林委員	<p>今のお答えなのですが、所管課がここにいるわけではありませんので、資料に出ているもの全てに対して、今お尋ねになったことは健康づくり課に聞いている話で完結する話です。それで生涯学習課の課長さんがお答えになれないのは当然のことだと思います。これは全課にわたって不満があるわけですね。進行管理とおっしゃったからいろんな意見が生じてくるわけですね。それにお答えできない現状があるわけですね。これからはずっと出てきます。その後はどうなさいますか。</p>
金子課長	<p>それについては、原課各課にお伝えさせていただきます。</p>

小林委員	その結果はどうなるのですか。次に反映させる手立にはあるのですか。
金子課長	次回の推進会議なりにお話し申し上げたいと思います。
小林委員	<p>そう申しますのは、これだけ三条市の施策に全部関わっている生涯学習課ですから、相当なボリュームだと思います。ここに意見が出ないからそれで終わりだという考え方も出来るかと思いますが、資料にお出しになる時点でお感じになっているものもままあるかと思いますが。公民館事業に関しては公民館運営審議会、社会教育委員会議があるわけですから、そこで慎重な審議、もしくはいろいろなご意見が出ているわけですから、それに触れるつもりはありません。その他でも、各所管の事業に対しては相当なボリュームがあるわけです。</p> <p>続けて申しますと、24年度と25年度を合わせて見ないと分からない部分もありますが、来年度に向けた課題等が書いてない部分は、先ほどおっしゃったようなことがここに盛り込まれていないということの裏返しではないかというふうに感じるのですが、それについてお答え願えませんでしょうか。</p>
金子課長	もう一度お願いいたします。例えば、24年度の表の中でございますか。
小林委員	<p>24年度の表と25年度の表を合わせて見えています。</p> <p>この会議でいろいろなご意見が出ます。そして、事業を行った結果として、実施状況と来年度にむけた課題等という欄がありますが、ここに何も書いていないのが大半です。これを平成24年度終了時の課題として次に活かす訳ですけれども、課題が出なかったという結果がこの表なのか、ご自分達で推進会議ではないからこのままですといったのか、どうなのでしょう。</p>
金子課長	これは、原課の方で来年度の課題として挙げたもので、推進会議の意見についてここに入れ込んだわけではありません。
小林委員	そう申しますのは、色々出た意見が反映される部分については、この会議にいる者には分かりません。どういうものが変わったかについてもこれを見ても分からないということです。
丸山会長	<p>また後ほど関係部署に確認して、次回にでも回答していただきたいと思えます。本当に幅広いですから、確かに部分的に見ると終了時の課題がつながって次の25年度の事業となるので、気になるところです。私もそのことを思っておりますのでひとつよろしく申し上げます。</p> <p>他のご意見はございませんか。24年度の実績でございますけれども、これからまた25年度に入りますけれども、一応実績として何か気になるようなことがあればお願いします。各部門からお出でになっておりますので、その部門の問題を見てもらってもよろしいです。非常に幅広いので、つかみどころが難しいと思えますけれども、よろしく申し上げます。</p>

山川副会長	私は小学校勤務なので、幼小中とつながっていく子供たちを見ているわけですが、その中で生涯学習に関わる図書館の利用を進めたいと思っております。そういう目で見ますと、実施されていない事業で図書館に関するものが3箇所あったので、それについて残念だと思いました。25年度に反映されていればそれでいいと思っています。25年度の計画を見させていただいて、何か意見が言えたらと思います。
丸山会長	具体的には何ページですか。
山川副会長	資料No.2に書いてあります、ブックスタートボランティアステップアップ講座とブックスタートボランティア養成講座、ストーリーテリング講座です。参加者がいないから実施しないということでもいいのか、できるだけ後継者を育てたいという気持ちで参加者を強力なものにしていくのか、そのあたりの意向をお聞きしたいと思います。
丸山会長	その問題も、先ほどと同じように他部署と言いますか、公民館以外の図書館という問題ですので、生涯学習課としても原因を聞いて、また後で対応できるようにしていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。いかがですか。
金子課長	今ほどのお話だけ捉えさせてもらいますと、計画したけれども参加者が少なく実施しなかった事業については、25年度についても計画しているものでございます。ストーリーテリング講座とブックスタートボランティア養成講座は実施計画に載っておりますので、実施するつもりでおります。
丸山会長	こちらの資料No.1、2についても、非常に問題のあぶり出しが難しいので、増減も含めて、増加した事業は何か、減少した事業は何か、ということであぶり出しをして見やすいようにしたということでございますので、よろしく申し上げます。他にいかがでしょうか。
野崎委員	私は、井栗小学校でスクールアシスタントをさせていただいております。主な仕事内容は、図書室で図書の管理をさせていただいております。その中で資料No.3の101ページの2番の「図書館を使った調べ学習」についてなのですが、参加校が1校となっております。これはどのように選ばれたのでしょうか。すごく興味があります。 それからもう一点ですが、井栗小学校の子どもたちが、調べ学習に対していろいろな本を調べるにはどのような本がいいのか、興味があるみたいで、調べ学習の講座というので何かできないでしょうか。
金子課長	今野崎委員さんがおっしゃったのは、平成24年度実施状況の101ページの2と3です。24年度につきましては、裏館小学校の校長先生が図書館協議会の委員さんをされておりますので、その関係から裏館小学校に働きかけて実現したという経緯がございます。ここにも書いてありますように、各学校への周知が不足していたということで、周知したいというふうに図書館

	は言っております。
丸山会長	他にございませんか。 それでは次に、(4)平成25年度三条市生涯学習推進計画 実施計画について、資料4、5、6の説明を事務局からお願いします。
金子課長	<資料No.4、5、6に基づいて「平成25年度三条市生涯学習推進計画 実施計画」を説明>
丸山会長	ありがとうございました。それではまたご質問をお受けしますけれども、私の方で統括して質問したいと思います。 資料No.4です。私は必ず事業数と計画数を見るのですが、平成24年度は284の実施に対して、25年度は308ということでプラス24です。ただ、個々に見てみると「社会教育の充実」のところで、「成人の学習機会の充実」がプラス8事業になっています。資料No.6の31ページを見ますと、上林分館の事業がずらずらと並んでいて、プラス8事業というのは上林分館です。上林分館が今まで活動していたものはどうなっているのですか。
金子課長	今まで活動していたものもございまして、今回はじめて取り組まれるということもあるのですが、和太鼓やちぎり絵教室等は今までやっていたものを新たに公民館事業として取り組むというようなことでございました。
丸山会長	それでは、ご質問はございますでしょうか。
金子課長	付け加えますと、先ほど副会長さんからご指摘があったものについては、増減表をご覧いただくと、図書館の「ブックスタートボランティア養成講座」「ストーリーテリング養成講座」を再度計画しておりますのでよろしくお願い致します。
山川副会長	もう行っているみたいですので、成果があれば嬉しいです。
金子課長	ストーリーテリング講座の方が27人参加ということです。ブックスタートボランティア養成講座につきましては、7月実施予定となっておりますが、秋か冬にずれ込んで開催させてもらいたいということになっております。ストーリーテリング講座だけ予定通り実施したということでございます。
丸山会長	もう一つ質問です。資料No.6の93ページ「健康マイレージ手帳事業」ということで、もともと生涯学習手帳事業だったものが、マイレージ手帳に抱えられたということですが、前の生涯学習手帳の時より当然活用される量は増えているとは思いますが、どのくらいの活用状況になっているかについて、コメントをいただきたいのですが、
金子課長	今、手帳の見本を持ってきますが、生涯学習手帳の時は、50ポイント貯まると修了書、賞状を1枚お渡しするというような制度にしていたのです

金子課長	<p>が、健康マイレージ手帳は景品がもらえます。市全体の、歩くだけでも一つの健康ということで、こういった健康マイレージ手帳対象事業に参加するとスタンプをもらい、ポイントが貯まると申し込みをして、抽選で景品がもらえるという制度なのです。そういったことから、生涯学習手帳よりも励みの度合いが大きいというのでしょうか。結構窓口の方にスタンプを貰いに来られたりしております、2年目に入りましたけれども定着していると思っております。生涯学習手帳のときにも数多くこられていたのが実態でございます。</p>
丸山会長	<p>これも健康づくり課が主管になっておりますけれども、どのくらい活用しているかなど、もちろん発展的にはなっているとは思っておりますけれども、是非見守っていきたいと思います。</p>
小林委員	<p>よろしいですか。放課後子ども教室でございますが、資料No.6の中に2つ出ています。106ページには「既存施設の有効活用」、もう一つは12ページの「青少年の教育の充実」が出ています。終了時の課題に「年々スタッフが減少傾向にある」と書いてあります。この間もこの関係の会議がございまして、顕著に現実があるわけです。せめてこの「年々スタッフが減少」している解決策として、ここにある「ボランティアの養成」の中で取り組むことをしたらどうでしょうか。</p> <p>そう申しますのは、ここにあるボランティアは、栄養教室だとかボランティアのおはなし祭りだとか確実にその部分だけで切り取られているのですが、総合的なボランティアを養成する場所というのは、放課後子ども教室はボランティアで成り立っているわけです。これは年々（ボランティアが）減少傾向で太刀打ちできないような現実があるわけです。放課後子ども教室は、子どもたちには相当な成果をあげているわけです。これがそういう状況にあるわけですので、この二つに、既存の施設利用はなじまないところがあると私は思うのですが、学校を使うことがなぜ既存の施設の利用なのか、少しひっかかります。教育委員会のお考えなのかどうか分かりませんが、違う部署に持っていくのであれば、ボランティアの活用・育成というところに、ボランティア活動支援に対しての充実のところを持って行って、総合的なボランティアを養成するような形をとってほしいと思います。</p> <p>それから栄養教室ですが、目的が食生活改善推進員を養成するためなのです。こういう「栄養教室を修了した人達は食生活改善推進員になるのだ」という持っていき方をすれば、当然大変窮屈ですから、こういうふうな減少が起こって当然なのです。栄養教室で学びたい者は、食生活改善推進員になるための者なのかといえば、違います。そういう方もいらっしゃるでしょう。現実的には家庭の食事など色々考えられると思いますが、この問題に即したものを学びたいという人がイコール食生活改善推進員になろうかというこ</p>



	<p>とになると、疑問が出てくるわけです。</p> <p>24年度と25年度だとこの課題の意味合いが若干変わっているのです。無理矢理にでも食生活改善推進員をつくりたいというのが透けて見えるような書き方をしているのです。本来ならば、こういうふうな書き方はできないはずで、少しずつ変えていって窮屈にしているという現実がここで透けて見えますので、栄養教室イコール食生活改善推進員という形をもう一度改めてみる必要があるのではないか、食生活改善推進員の養成講座ではなくて、栄養教室そのものに参加したい市民のための栄養教室になるべきだと私は思います。その結果として、食生活改善推進員を目指すのは構わないのですけれども、目的がそこにあると大変窮屈な形になるのではないかと思います。これを、ボランティア養成ではなくて、違う場所に移ってもいいことではないかと、そんな気がいたします。</p>
丸山会長	<p>今の「放課後子ども教室」と「栄養教室」について、何かありましたらお願いします。</p>
金子課長	<p>確かに、社会教育というのでしょうか、青少年教育を含めての幅広いボランティア養成や指導者養成は、社会教育委員会議の時も指摘されておりますし、今また地域におけるボランティアの育成というような観点からお話しがあったものと受け止めさせてもらっております。私どもの方で、来年度どういう風な指導者養成ができるかについて計画しておりますので、今のご意見を参考にしてプログラムをつくっていきたくて思っております。</p> <p>また、後段の栄養教室の関係は、健康づくり課の教室の目的等をもう一回確かめながら、今のご意見をお伝えしたいと思っております。その結果についてはお知らせ申し上げたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
小林委員	<p>もうひとつよろしいですか。公民館でやっておいでになる高齢者教室のカリキュラムの中に、ボランティアの部分を取り入れることも可能だと思います。放課後子ども教室イコール保護者ではないのですが、65歳以上の方が大半過ごしている実態もございますので、そういうカリキュラムに取り入れることもご検討していただきたいと思っております。</p>
金子課長	<p>大変具体的にかつ方法論的に、面白い取り組みの仕方があるのかなという示唆をいただいたと思います。例えば、見学・視察みたいのところからできることもありましょし、交流事業として1回やってみて、その後定着させるという手法もありましょし、その辺の手法についてはまた相談させてもらいたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
丸山委員	<p>他にございますでしょうか。</p>
金井委員	<p>資料No.6の一番前のページなのですが、それでも、「家庭教育支援の充実」ということで、昨年度の課題として、参加人数の増加を目指すとはありますが、具体的な支援策は何かあるのでしょうか。例えば、1番の家庭教育講座なの</p>

金井委員	ですけれども、私どもの幼稚園のお母さん方にもお伺いしますと、わざわざ別の所に行くというのは非常に大変だけれども、仕事をしている施設、例えば幼稚園とか保育園とかで行われるものでしたら参加しやすいというような意見もいただいております。会場に関しても流動的な開催というののもあっていいのかなというふうに思います。
丸山会長	今の家庭教育講座について、いかがですか。
金子課長	各保育園・幼稚園・学校に入って子育て教室や家庭教育講座をやっているのが、子育て支援課の方で、それとバッティングしないように公民館でやっています。公民館を会場にして開催して参加率が悪いですが、例えば PTA などと共催してやるということも検討しているので、よろしくお願ひしたいと思います。
丸山会長	他にございませんか。 それでは、次の議題であります（５）三条市生涯学習市民意識調査「生涯学習に関するアンケート」について説明をお願いします。
金子課長	お配り申し上げます「生涯学習に関するアンケート」でございますが、これについては昨年度の生涯学習推進会議の席上と、社会教育委員会でも検討していただいた内容でございますが、7月に実施させてもらって7月31日締め切りで回収したところでございます。これから集計に入らせてもらって、結果については次回の会議のところでお話しさせてもらいたいということで、こういった市民アンケートを行ったということをご承知置きたいと思ひます。設問は20問で、前回の生涯学習推進計画を策定する際に行ったアンケートを一部修正しながら作ったものでございます。詳細については、目を通していただければと思ひます。結果を持ちまして次の機会に報告させてもらいたいと思ひますので、よろしくお願ひ申し上げます
丸山会長	「生涯学習に関するアンケート」は現在実施中ということで、次回会議は何月くらいの予定になりますか。
金子課長	今年の末か、来年の初めくらいです。
丸山会長	その頃にはアンケートの内容がだいたい分析された状態でしょうか。
金子課長	その頃までに取りまとめさせてもらいたいと思ひます。
丸山会長	市民の意識がどのように変わってきたかということも、見られると思ひます。もともと生涯学習推進会議というのは、当初はアンケート調査から始まって、こういう方向性を作ったわけでございます。6年経って意識がどういふふうに変ってくるかです。そんなに大きな違いはないと思ひますが、部分的にはあると思ひます。その辺をよくとりまとめていただひいて、また来年になるかもしれませんけれども、内容についてまとめていただひきたいところでございます。まだ集計していないでしょうか。
金子課長	締め切りの時点では回収が356人でございました。

丸山会長	だいぶ時間が早めに進んでおりますので、全般的に何かご意見があればお願いします。改めて先ほど質問できなかったという点も含めて、何かありますか。今日ご出席の方で、発言されていない方はいますか。10名という人数でございますので、各自の疑問等をお話しただければと思います。
小林委員	生涯学習推進会議設置要綱はいつ変わったのですか。
金子課長	平成19年5月1日に変わっております。
小林委員	10名以内になったのですか。
金子課長	そうですね。10人以内でございます。
丸山会長	これで全て終了いたしましたので、第1回生涯学習推進会議は終了させていただきますけれども、副会長の山川様に閉めの挨拶をお願いしたいと思います。
山川副会長	今日はお忙しいところ集まっておいただきありがとうございました。また、このような会議で会長さんの隣で進めるなんてことは初めてのことなのですが、改めて生涯学習というのが色々な部署から計画されているのだなということを感じました。私は学校教育の立場でしか物を見ていませんでしたが、多くの方々が、三条市民の生涯にわたっての学習のところが担っていらっしゃるのだなということを感じました。この会議の多くの意見が反映されて、三条市の市民が「学び合いで広がる心豊かなひとづくり」につながることを願っております。第1回の会議をこれで閉じさせていただきます。誠にありがとうございました。

午後3時20分閉会